

# ホクコースタークル<sup>®</sup>粒剤

■種類名：ジノテフラン粒剤  
 ■有効成分：ジノテフラン-----1.0%

■登録番号：第20807号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 ■登録初年：2002.04.24  
 ■性状：類白色細粒  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：1kg×12袋、3kg×6袋  
 18kg×1袋（地域限定）

## 【特長】

- テトラヒドロフラン環を持つ新規の殺虫剤。
- 広い殺虫スペクトラム。アブラムシ類、コナジラミ類、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類、コナカイガラムシ類などの植物を吸汁加害する半翅目害虫、薬剤抵抗性が問題になりつつあるイネドロオイムシや重要な土壌害虫キスジノミハムシなどの甲虫目、野菜・花きの難防除害虫マメハモグリバエ等の双翅目や、十字科野菜の大害虫コナガ、果樹の重要害虫シンクイムシ類・ハモグリガ類・ホソガ類等の鱗翅目害虫、およびアザミウマ類にも高い効果を示す。

## 【適用内容】(2015年10月末日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ カメムシ類 イネドロオイムシ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
だいず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期 定植時		株元散布 植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	コナジラミ類 アブラムシ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	生育期 但し、収穫14日前まで			
	アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
メロン	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期		株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、散布は2回以内)
	アザミウマ類 ハモグリバエ類		定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類	1~2g/株				
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	生育期 但し、収穫21日前まで	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	
			育苗期			
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類		定植時	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
にがうり	コナジラミ類					

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジ/テフランを含む農薬の総使用回数
ズッキーニ	コナジラミ類	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫14日前まで		株元散布	
なす	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	植穴土壌混和	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	1~2g/株	定植時			
	アブラムシ類	1g/株				
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期	2回以内	株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで			
	コナジラミ類					
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類	1~2g/株	育苗期	1回	植穴土壌混和	5回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、定植時の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	コナジラミ類		定植時			
	コナジラミ類 アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	
	コナジラミ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	
	アブラムシ類	1g/株				
	アザミウマ類	1~2g/株				
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	コナジラミ類		育苗期	1回		
	アブラムシ類		生育期 但し、収穫14日前まで			
とうがらし類	アザミウマ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
とうがらし(葉)	アザミウマ類 アブラムシ類	1g/株	定植時 但し、収穫30日前まで		株元散布	
キャベツ	アブラムシ類	2g/株	育苗期	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	ハイマダラノメイガ	3g/株	定植時			
はくさい	コナガ アオムシ	2~3g/株		3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)		
	ハイマダラノメイガ	3g/株				
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ	2g/株	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)			

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノフランを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	定植時					
	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6~9kg/10a	生育期 但し、収穫 3日前まで	2回 以内	株元散布	
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土1畝当り 15g 1g/株	は種前 育苗期後半		培土混和 株元散布	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
にんじん	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
かぶ	アブラムシ類	6kg/10a				
	だいこん					
チンゲンサイ		キスジノミハムシ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和
	アブラムシ類	定植時		土壌混和		
ほうれんそう 非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)	アブラムシ類 キスジノミハムシ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
なばな類						
ふき	アブラムシ類	20kg/10a	定植後~生育期 (草丈20cm頃まで) 但し、収穫45日前まで		土壌表面散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)
いちご	ワタアブラムシ	0.5~1g/株	定植時		植穴土壌混和	1回
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期	5回 以内	株元散布	5回以内
くわい	アブラムシ類	3kg/10a	収穫30日前まで	3回 以内	散布	3回以内

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノフランを含む農薬の総使用回数
オクラ	アブラムシ類	9kg/10a	生育期 但し、 収穫 14 日前まで	1 回	株元散布	3 回以内 (株元散布は 1 回 以内、散布は 2 回以内)
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類		生育期 但し、 収穫開始 14 日前 まで			
さやいんげん	アブラムシ類		生育期 但し、 収穫 14 日前まで			
しょうが	クロバネキノコバエ類		生育期 但し、 収穫 14 日前まで			
しそ	マデイラコナカイガラムシ	2g/株 (但し、10a 当り 25kg まで)	定植時	2 回 以内	植穴土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌混 和は 1 回以内、 散布は 2 回以内)
セルリー	アブラムシ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌混 和は 1 回以内、散 布は 2 回以内)
食用ぎく		1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)				
	マメハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)				
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	2 回 以内	播溝土壌混和	3 回以内 (は種時及び定植 時の土壌混和は 合計 1 回以内、散 布は 2 回以内)
			定植時		植溝土壌混和	
茶	クワシロカイガラムシ	12kg/10a	摘採 7 日前まで	2 回 以内	株元土壌混和	2 回以内
きく ガーベラ	コナジラミ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴土壌混和	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5 回 以内	株元散布	
	マメハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴土壌混和	
花き類・ 観葉植物 (きく、 ガーベラを 除く)	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5 回 以内	株元散布	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	コナジラミ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴土壌混和	
つつじ類	ツツジゲンバイ	6kg/10a	発生初期	5 回 以内	株元散布	5 回以内

#### 【効果・薬害等の注意】

- 水稻に使用する場合には、湛水状態（3cm程度）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないこと。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- 本剤の株元散布を行う際は、処理直後に灌水すること。
- かんきつに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水すること。なお本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布すること。
- ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とすこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。

- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**【安全使用上の注意】**

- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。